

父母会・保護者会

——大切にしたいこと

編集部

父母会・保護者会は、学童保育に通う子どもの保護者が集ってつくり、学童保育を支える組織です。「父母の会」と呼ぶ地域もあります。公営や法人運営など、運営主体がどこであっても、保護者が自主的につくることができま

す（なお、会議としての集まり＝話しあいの場のことを「父母会」「保護者会」と呼ぶ場合もあります）。

ここでは、父母会・保護者会の役割をたしかめ、現状と課題もふまえて、よりよい学童保育を共につくっていく際に大切にしたい視点をたしかめます。

交流・情報交換・改善 につなげる場として

父母会・保護者会の具体的な活動内容は、つぎの五点にまとめることができます。

◆働きながらの子育ての様子や思いを交流し、支えあう……仕事や子育て、家庭のことなどを率直に話しあったり相談できる仲間がいることは、保護者自身にとって大きな支えにつながります。交流は、学童保育の行事などに参加・協力するなかでも行うことができます。

◆学童保育での生活の内容を指導員と



共に支える……学童保育での子ども
の生活を豊かにするためには、保護
者と指導員が子どもの様子を伝えあ
い、子育てへの思いや願いを話しあ
える関係を築くことが大切です。

◆学童保育をつくり、維持し、運営す
る……保護者が運営を担っているこ
ろでは、父母会・保護者会が学童
保育を「つくり、維持し、運営す
る」働きを持つことによって成り

立っています。

◆学童保育の施設環境、運営の課題を改善する……子どもにとって、学童保育が安心して安全に過ごすことができ、必要とする期間通いつづけることができる場となるためには、改善しなければならぬ課題がまだまだたくさんあります。父母会・保護者会は、子どもが日々過ごす学童保育の生活の実態にしっかりと目を向け、指導員と共に改善に取り組みという役割も担っています。

◆学童保育の施策や制度をよりよくする運動に取り組む……地域や行政に働きかけて、その地域の学童保育全体をよりよくする運動に取り組むことも、父母会・保護者会の大切な役割です。

* * *

このように、父母会・保護者会は一人ひとりの保護者の子どもへの願いや

思いを交流する場であると同時に、保護者と指導員が、「子どもにとってよい学童保育の生活内容や環境」をつくりだすうえでの基盤にもなっています。一人では解決できないことも、みんなで話しあうことで願いや課題が明確になり、解決する道が見えてくることもあるでしょう。

現在、全国には、三万三七二〇か所(三万二六五四支援の単位)の学童保育があり、一、二六万人以上の子どもたちが通っています(二〇一九年五月に全国学童保育連絡協議会が行った調査結果)。

国や自治体が徐々に施策の拡充を図ってきた側面はあるものの、実状況は自治体によってさまざまな現状があり、子どもの人数の大規模化、利用料や運営のための費用などへの公的保障の不足、施設・設備の条件整備の遅れ、指導員の厳しい労働環境など、子

どもが安全に充実した生活をおくるうえでの困難や課題も多く存在しています。

これらを改善し、子どもが安心して安全に過ごせる学童保育をつくっていくためには、保護者・指導員をはじめとする学童保育関係者が、父母会・保護者会や学童保育連絡協議会(本誌五七頁もぜひお読みください)を通じて、交流・学習・研究を進めたり、行政へ改善を求める働きかけなどを行っていくことが必要です。

**保護者・指導員が
力をあわせてこそ**

現在、全国各地の多くの保護者と指導員は、父母会・保護者会や連絡協議会を通じて力をあわせ、よりよい学童保育をつくりだすための取り組みを進めています。

一方、父母会・保護者会に関わって